

第1回

大昔のくらしとくにの成り立ち-旧石器時代・縄文時代・弥生時代-

標準演習

1 次の表を見て、あとの問いに答えなさい。

時代	主なできごと
旧石器時代	日本が(1)と陸続きだったころ、マンモスや(2)象などの大型動物を追いかけて日本に来た人々がほら穴などに住み、③ <u>打製石器</u> を使って狩りや採集をしていた。
① <u>縄文時代</u>	この時代の人々は台地に定住し、(3)とよばれる住居に住んでいた。(4)石器や動物の骨などからつくられた(5)で狩りや漁を行って、④ <u>食べ物を公平に分けあたえていた</u> とされている。
② <u>弥生時代</u>	この時代に(6)が日本に伝わり、安定した食料の生産ができるようになった。金属器も伝わり、(7)は祭器に、(8)は武器や農具に使われた。

(1) (1)～(8)にあてはまることばを答えなさい。

(2) 時代名の由来について、次の文中の()にあてはまることばを答えなさい。

日本の歴史の時代名は、さまざまなものからとられています。下線部①・②の時代名は、人々が使っていた(A)から名づけられました。のちの平安時代や鎌倉時代は(B)の中心となった地名から名づけられました。また、天皇がかわるごとに(C)が定められるようになると、明治時代や大正時代のように(C)が時代名になりました。

(3) 下線部③について、^{あいざわただひろ}相沢忠洋が打製石器を発見した群馬県の遺跡を何といいますか。

(4) 下線部④について、次の問いに答えなさい。

① 縄文時代の人々が食べ物を公平に分けあたえたとされる理由を、かんたんに説明しなさい。

② 縄文時代の人々が貝がらなどを捨てた場所が遺跡になったものを何といいますか。

(1)	1	2	3	4
	5	6	7	8

(2)	A	B	C
-----	---	---	---

(3)	
(4)	①
	②

2 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

A 1946年、①岩宿という場所で関東ローム層の中から打製石器が発見されたことにより、日本にも旧石器時代が存在していたことが明らかになりました。この時代、日本には大陸からわたってきたナウマン象やおおつのじかといった大型の動物がおり、その化石が②長野県などで発見されています。

B 弥生時代になると、③稲作が始まり、人々は④田をつくるために低地に定住するようになりました。かりとった稲は⑤高床倉庫に保存されましたが、こうしたくわえを持つ者と持たない者との差が生じて、大きなムラが小さなムラをしたがえるようになり、やがてクニができていったと考えられています。

□(1) 下線部①について、岩宿がある県名を答えなさい。

□(2) 下線部②について、ナウマン象やおおつのじかの化石が発見された長野県の遺跡の名前を答えなさい。

□(3) 下線部③について、弥生時代の稲作の特ちょうとしてまちがっているものを、次のア～エから1つ選びなさい。

- ア 木製の田げたをはいて、水田での作業をおこなった。
- イ 収かくのときは、石包丁とよばれる打製石器が使われていた。
- ウ 稲作は、九州地方から東北地方まで広まっていた。
- エ 稲作によって、安定した食料の生産ができるようになった。

□(4) 下線部④について、大きな水田のあとが発見された登呂遺跡がある県名を答えなさい。

□(5) 次の写真は下線部⑤の高床倉庫です。写真のように倉庫のゆかが高くなっているのはなぜですか。かんたんに説明しなさい。



(1)	県	(2)	遺跡	(3)	(4)	県
(5)						

③ 次の会話文を読んで、あとの問いに答えなさい。

一郎：この前、佐賀県にある吉野ヶ里遺跡に行ったんだ。集落のまわりにほりがめぐらされていて、弥生時代の(①)集落のようすがよくわかったよ。

花子：よかったね。私は、初期の稲作のあとが見つかった福岡県の(②)遺跡を見学したことがあるよ。福岡県は、佐賀県のとなりの県だね。

一郎：そうなんだ。しかし、③ どうして弥生時代は集落のまわりにほりをめぐらせていたんだろうか。花子さんは(②)遺跡のほかにどんな遺跡を見学したことがあるの？

花子：青森県の三内丸山遺跡も見学したよ。縄文時代に安産や魔よけのためにつくられた人形とされる(④)も見たけど、縄文時代の人たちは芸術が好きだったのかな。

一郎：その三内丸山遺跡は、2021年に「北海道・北東北の縄文遺跡群」という世界文化遺産のひとつとして登録されたね。

花子：2021年というのは(⑤)の数え方だけど、日本の元号なら令和3年のことだね。

一郎：これまで、日本では250以上の元号が使われてきたけど、(⑥)がかわるごとに元号も新しくなるというのは、明治時代から始まったらしいよ。

花子：明治時代といえ、アメリカ人のエドワード・モースが(⑦)で大森貝塚を発見した時代だね。

一郎：ドイツの地質学者のナウマンが来日したのも明治時代だよ。かれが⑧ 象の化石を研究したことは有名で、そのためにナウマン象と名づけられたんだよ。

- (1) 会話文中の(①)・(④)・(⑥)にあてはまることばを、それぞれ漢字2字で答えなさい。
- (2) (②)にあてはまる遺跡の名前を、次のア～エから1つ選びなさい。
- ア 鳥浜 イ 登呂 ウ 板付 エ 野尻湖
- (3) 下線部③について、右の写真は吉野ヶ里遺跡です。この写真のように、弥生時代に集落のまわりにほりやさくをめぐらせていた理由を、かんたんに説明しなさい。
- (4) (⑤)にあてはまる年代の数え方を表すことばを答えなさい。
- (5) (⑦)にあてはまる都道府県名を答えなさい。
- (6) 下線部⑧について、ナウマンが化石を研究した象がいた時代を何といいますか。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

(1)	①	④	⑥	(2)
(3)				
(4)	(5)	(6)		

④ 次のA～Cは、紀元前1世紀～3世紀のころの日本のようすについて書かれた中国の歴史書の一部です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

A ()人は帯方たいほうの東南大海の中にあり。もと百あまりの国は三十か国になり、中国に使いを送っている。(中略)()国乱れ、女子を王とした。名を卑弥呼ひみこという。

B 建武中元2年けんむちゅうげん、()の奴国なこくが来た。(中略)光武こうぶが金印をあたえた。

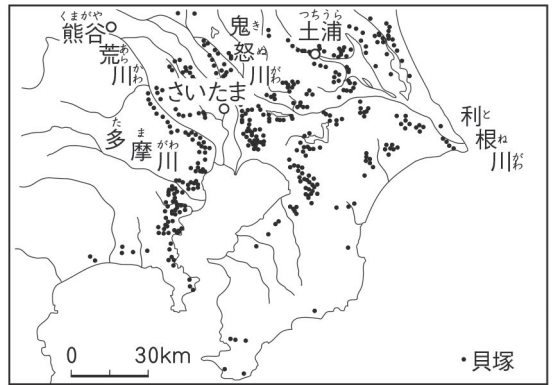
C 楽浪海中らくろうに()人あり。分かれて百余国をなす。

- (1) A～Cの各文の()には共通のことばが入り、それは当時の中国から見た日本のよび名です。そのことばを漢字1字で答えなさい。
- (2) Aの文中の「卑弥呼」が王になる前の日本の状況について、「クニ」ということばを使って、かんたんに説明しなさい。
- (3) 「卑弥呼」が治めていた国の名前を答えなさい。
- (4) Bの文中の「奴国」の王が中国の皇帝から授さずかった「金印」は福岡県で発見されています。福岡県のどこで発見されましたか。その地名を答えなさい。
- (5) Cの文中の「楽浪」は、楽浪郡という中国の郡のことです。この楽浪郡があった場所を、次のア～エから1つ選びなさい。
ア 中国北部 イ 中国南部 ウ 朝鮮半島北部 エ 朝鮮半島南部
- (6) A～Cが書かれている中国の歴史書の名前を、それぞれ答えなさい。
- (7) A～Cの書かれた年代の古い方から順番に、記号を用いてならべかえなさい。
- (8) Bの文中の「建武中元」は、当時の中国で使われていた元号であり、「建武中元2年」は西暦57年にあたります。「建武中元2年」は何世紀ですか。解答らんにあてはまるように答えなさい。

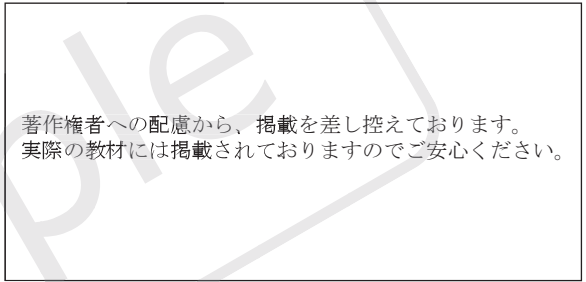
(1)			
(2)			
(3)	(4)	(5)	
(6)	A	B	C
(7)	→ →	(8)	世紀

発 展 演 習

- 1 右の地図は、関東地方の貝塚の分布を示したものです。貝塚は海でとれた貝の貝がらなどがうまっている遺跡のことをいいますが、この地図を見ると、内陸部にまで貝塚が存在しています。なぜ現在は海がないところにも貝塚があるのですか。かんたんに説明しなさい。



- 2 右の写真は、縄文時代最大級の集落の遺跡とされる、青森県の三内丸山遺跡で見つかった、建物用の「大きな穴」と「ヒスイ」です。この2つからわかることを、それぞれかんたんに説明しなさい。

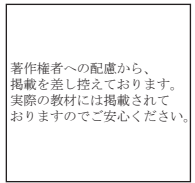


著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

大きな穴

ヒスイ

- 3 右の絵は、弥生時代の銅たぐの表面にきざまれていたものです。これと同じことをするための道具を、次のア～エから1つ選びなさい。そして、なぜそれを選んだのか、理由をかんたんに説明しなさい



著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

	ア	イ	ウ	エ
	著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。	著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。	著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。	著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

記号

理由

第1回 大昔のくらしとくにの成り立ち

時代	できごと
約250万年前	関東地方で火山活動がさかんになる。
	↑ この間に降り積もった火山灰が関東ローム層という地層になる。
約12000年前	日本列島が誕生し、縄文時代が始まる。

□4 ^{あいざわただひろ}相沢忠洋が、群馬県の岩宿の関東ローム層の中から打製石器を発見するまで、日本に人間が住むようになったのは縄文時代からであると考えられていました。このため、^{はっくつ}発掘調査を行って関東ローム層にふくまれる赤い土が出てくると、もう発掘しないようにしていました。赤い土が出ると発掘を中止するのが当たり前とされていた理由について、右の年表からわかることをもとにして説明しなさい。

□5 右は福岡県の志賀島^{しかのしま}で発見された金印で、これは『後漢書』^{ごかん}東夷伝に記録されている倭の奴国の王が中国(後漢)の皇帝から授かったものです。なぜ、奴国の王はわざわざ遠くはなれた中国に使いを送って金印を授かったのですか。また、中国の皇帝はなぜ奴国の王に金印を授けたのですか。「奴国の王」と「中国の皇帝」のそれぞれの立場に立って、説明しなさい。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

「奴国の王」

「中国の皇帝」